

科目名		建築製図 1							年度	2025	
英語科目名		Architectural Drafting 1							学期	前期	
学科・学年		建築学科 1 年次		必修	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員		山田 盛久			教員の実務経験		あり	実務経験の職種		建築設計	
【科目の目的】 ・ 建築の製図記号が理解できる ・ 実際に建築物を体験し、そのスケール感と立体感をイメージしながら平面図、断面図、立面図を描くことができる ・ 寸法と機能性を理解し自分で設計した空間を、平面図、断面図、立面図で表現することができる											
【科目の概要】 建築図面の記号を理解することから始まり、平面図、断面図、立面図を描くことができるようにする。 寸法感覚を身に付けると同時に、三角スケールを使用した縮尺表現、抽象化した図面表現を理解する。 また機能性やコンセプトを建築に具現化して図面表現する、基礎的な設計力を習得する。											
【到達目標】 A. 線の種類や太さの意味を知り、描き分けることができる B. 三角スケールで縮尺を測り、建築の製図記号を理解し描くことができる C. 寸法感覚を持って住宅の平面図・断面図・立面図を描くことができる											
【授業の注意点】 評価はルーブリックにもとづいて行い、指導教員等により講評会において評価を行う。 学生による自己評価及び相互評価も実施し、評価に勘案する。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価		レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力				
到達目標 A		線の種類や太さの意味を理解し、綺麗に描き分けることができる		線の種類や太さの意味を理解し、描き分けることができる			線の種類や太さの意味を理解できない				
到達目標 B		三角スケールで縮尺を測り、建築の製図記号を理解し、正確に描くことができる		三角スケールで縮尺を測り、建築の製図記号を理解し、描くことができる			三角スケールでの縮尺や測り方、建築の製図記号を理解できない				
到達目標 C		寸法感覚を持って、住宅の平面図・断面図・立面図を正確に描くことができる		寸法感覚を持って、住宅の平面図・断面図・立面図を描くことができる			寸法感覚を持っておらず、住宅の平面図・断面図・立面図を描くことができない				
【教科書】 『建築デザイン製図』学芸出版社											
【参考資料】 資料プリント											
【成績の評価方法・評価基準】 授業への取り組み姿勢、出席状況、成果品とプレゼンテーション等で評価する											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											
科目名		建築製図 1							年度	2025	
英語表記		Architectural Drafting 1							学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル					評価方法	自己評価
			1	科目概要	科目の目的・内容を理解している						

